

質 問 回 答

平成 26 年 11 月 17 日

「( 案件名 ) 全世界基礎研究「小・中学校建設の付加価値向上のためのドナー・スキーム比較分析」( 公示日 : 平成 26 年 11 月 5 日 / 公示番号 : 140922 ) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第 3 業務実施上の条件	現地調査以降、最終報告書提出の期限を 1 ヶ月延ばすことは可能でしょうか。	業務指示書では、最終報告書は第二次国内作業終了後の 2015 年 6 月上旬に提出としています。この提出期限を変更することはできません。なお、現地調査は今のところ 2015 年 2 月～3 月を予定しております。
2	2 頁「4. 実績方針及び留意事項、ア. JICA による小・中学校建設実績に係る対外広報資料の作成」	「教育分野の協力全般に係るデータ集計の一環として実績をとりまとめている」と記載があるので、JICA にはこれまでの教育分野の全協力実績リストがあるものと考えます。ついては、当実績リストを供与していただけるのでしょうか？	教育分野の協力全般に係るデータに関し、契約締結後に当機構で有している情報を提供します。
3	2 頁「4. 実績方針及び留意事項、イ. 小・中学校建設に係る標準的指標・データ分析手法」	「本基礎研究においては、他ドナーの学校建設に係る標準的指標をとりまとめ、比較を行なう。また、就学児童数の将来予測及び経済的内部収益率の算出を中心に、他ドナーの分析方法をとりまとめ、比較を行う。」とありますが、「経済的内部収益率」は「内部効率」ではないのでしょうか？	経済的内部収益率 ( Economic Internal Rate of Return : EIRR ) は、内部効率性 ( 進級率、留年率、退学率、修了率、残存率 ) とは異なります。本基礎研究では、他ドナーの小中学校建設事業のプロジェクト評価指標において EIRR が採用されているか、採用している場合はその事例をもとに分析を行います。

以 上